

わくわく鹿児島中央認定こども園ドキュメンテーションシート

1月31日年長ぞう組研究保育 作成者名(後迫 美咲) 観点「主体的な学び」

「ゲーム遊びをしよう」	園児の姿(写真等)	エピソード
		• みんなでゲーム遊びをする中、ひろむくんは、監督役として中立の立場にいて、ゲームの始まりば、両チームを応援している姿が見られた。 • 途中で片方のチームのブロックが倒れると、自らブロックを取り別な場所に置いていた椅子の上にブロックを重ねて、一緒に参加しているように感じた。 *援助が必要な子に対して、どのようにしたら、ゲームに参加するのかを日頃の姿を踏まえての参加の仕方をしたことで、みんなと違う形での参加の仕方だったが、自ら参加したい意欲が出てきたのではないかと感じた。 • 2回戦したのち、各チームに分かれて分かれて、作戦会議を行う。様々な意見が出る中、相手チームの作戦を見ながら、自分たちの意見に取り入れられないか、話し合う姿が見られた。 • 上から渡すのと横から渡すのが、どちらの方が渡しやすかったかを保育者が問い、考える姿が見られた。

観点「(○)主体的学び ()対話的学び ()深い学び」 観点到○をつけてください。

[工夫等よかった点]	「もう少し改善したい点」
○援助が必要な子を無理に参加させるのではなく、監督役にしてみんなと一緒にゲームに参加している気持ちを味わいながら、自ら参加したいという意欲に繋がっていた。 ○2チームに分かれて、それぞれ色々な意見が出る中、相手チームの作戦を見てしまったが担任が「見てはだめ！」というのではなくそれを見たらうでどうすればいいのか話し合う姿がよかった。	○作戦会議で“上から渡すか”“横から渡すか”を話あったのが、3回戦は、上からのみだったので、チームでそれぞれの渡し方でも試してみてもよかったのかなと思う。

--	--